



平成24年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月10日

上場取引所 東

上場会社名 イワキ株式会社

コード番号 8095 URL <http://www.iwaki-kk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岩城 修

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 高野 滋

TEL 03-3279-0481

四半期報告書提出予定日 平成24年10月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年11月期第3四半期の連結業績(平成23年12月1日～平成24年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第3四半期	38,404	△4.9	813	△21.3	908	△17.7	449	△69.9
23年11月期第3四半期	40,400	9.6	1,034	207.2	1,103	144.2	1,491	728.0

(注) 包括利益 24年11月期第3四半期 546百万円 (△64.0%) 23年11月期第3四半期 1,518百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年11月期第3四半期	13.29	—
23年11月期第3四半期	51.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年11月期第3四半期	35,091	15,547	44.3	460.17
23年11月期	35,119	15,238	43.4	450.96

(参考) 自己資本 24年11月期第3四半期 15,547百万円 23年11月期 15,238百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年11月期	—	3.00	—	4.00	7.00
24年11月期	—	3.00	—	—	—
24年11月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年11月期の連結業績予想(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	△1.5	1,100	△9.5	1,180	△11.3	700	△57.1	20.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年11月期3Q	34,147,737 株	23年11月期	34,147,737 株
② 期末自己株式数	24年11月期3Q	361,355 株	23年11月期	357,019 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年11月期3Q	33,788,197 株	23年11月期3Q	28,920,448 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年12月1日～平成24年8月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災などの復興需要等を背景として緩やかな回復傾向がみられたものの、依然として欧州の財政危機をはじめ長引く円高や世界経済の景気後退が懸念され、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループでは、事業基盤・事業規模の強化、拡大および収益構造改善を基本戦略としたグループ中期経営計画を策定し、海外サプライヤーとの連携強化や自社企画による商品の開発など、多様化・高度化するお客様のニーズへの対応力強化に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は384億4百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益は8億1千3百万円（同21.3%減）、経常利益は9億8百万円（同17.7%減）、四半期純利益は4億4千9百万円（同69.9%減）となりました。

次にセグメントの概況につきご報告申し上げます。

【医薬品事業】

医療用医薬品は、本年4月の薬価改定による影響を受けながらも、「一般名処方加算」等の『後発医薬品使用促進策』や、調剤薬局等への積極的な営業活動が功を奏し、更に今夏の猛暑により主力の外皮用剤は大幅に伸長いたしました。また、緩下剤や受託品も好調に推移いたしました。

一般用医薬品は、ドラッグストア向けに企画した外用消炎鎮痛剤や化粧品、うがい薬などの販売が伸長いたしました。また、季節品は、品揃えの拡充および取扱い店舗数の増加により順調に推移いたしました。一方、提携品は伸長いたしました。また、ビタミンC原末等は低調に推移いたしました。

この結果、当事業全体の売上高は123億2千万円（前年同期比8.2%減）、営業利益は2千7百万円（前年同期は2千万円の営業損失）となりました。

【医薬品原料・化粧品原料事業】

医療用医薬品原料は、主力の解熱鎮痛剤原料が主要顧客への販売が引き続き好調により大幅に伸長いたしました。一方、ジェネリック医薬品原料は、抗アレルギー剤原料の伸長があったものの下剤・利胆剤原料等は低調に推移いたしました。

一般用医薬品原料は、原料調達の拡充、新規需要の獲得に向けた積極的な営業活動を展開した結果、保湿剤・ビタミン剤原料等が堅調に推移いたしました。また、主力の鼻炎用血管収縮剤原料は、円高の影響もあり低調に推移いたしました。

化粧品原料は、主力の原料販売に注力するとともに、海外サプライヤーの新規開拓の強化、事業領域の拡大に努めた結果、堅調に推移いたしました。

この結果、当事業全体の売上高は107億3千5百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益は7億7千5百万円（同2.7%増）となりました。

【化成事業】

めっき薬品は、海外ではアジア地区の海外拠点を新設・強化し積極的な営業活動を展開するとともに、環境に優しい表面処理薬品の拡販に注力した結果、スマートフォンやタブレットの成長に伴い、堅調に推移いたしました。国内ではハイブリッド車などの車載部品向け薬品は堅調に推移したものの、プリント配線板・電子部品関連薬品は、薄型テレビやデジタル家電の販売低迷や生産拠点の海外流出等により大幅に落ち込み、全体としては低調に推移いたしました。

化学品原料は、農薬原料や機能性樹脂向け原料が好調に推移いたしました。一方、表面処理薬品原料は堅調に推移したものの、特殊溶剤や酢酸類は低調に推移いたしました。

医薬中間体は、受託品が堅調に推移いたしました。また、特殊薬品はポリマー重合触媒が低調に推移いたしました。

この結果、当事業全体の売上高は66億3千2百万円（同8.0%減）、営業利益は1億4千8百万円（同67.7%減）となりました。

【食品原料・機能性食品事業】

食品原料は、天然調味料・農産加工品への集中を基本戦略として、関連会社製品・輸入食品原料の販売拡大に注力いたしました。

関連会社製品は、主力のエキス系調味料および受託加工が堅調に推移いたしました。一方、天然調味料・農産加工品は加工食品の生産量減少により低調に推移いたしました。

サプリメント原料は、通信販売会社をはじめ、製造受託会社への提案活動に注力した結果、美容原料をはじめとしたエイジングケア原料等が好調に推移したものの、自社企画品の原料を配合したサプリメント製品の伸び悩みなどの影響により全体としては低調に推移いたしました。

この結果、当事業全体の売上高は57億7千1百万円（同4.8%減）、営業利益は3億1千6百万円（同1.2%減）となりました。

【その他の事業】

当事業全体の売上高は29億4千3百万円（同8.6%増）、営業利益は1千7百万円（同41.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産350億9千1百万円（前連結会計年度末比2千7百万円減）、負債合計195億4千4百万円（同3億3千6百万円減）、純資産は155億4千7百万円（同3億9百万円増）となりました。

総資産の減少の主な理由は、受取手形及び売掛金の減少5億7千6百万円、その他の固定資産の増加3億5百万円、投資有価証券の増加1億6千9百万円によるものです。負債合計の減少の主な理由は、支払手形及び買掛金の減少18億1千4百万円、電子記録債務の増加15億8千4百万円、未払費用の減少4億9千4百万円、未払法人税等の減少2億4千6百万円、その他の流動負債の増加4億6千5百万円、長期借入金の減少1億2千1百万円、その他の固定負債の増加3億1百万円によるものです。純資産の増加の主な理由は、利益剰余金の増加2億1千2百万円、その他有価証券評価差額金の増加9千7百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月期の業績予想につきましては、平成24年1月13日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

① 会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

② 法人税率の変更等による影響

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）および「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が平成23年12月2日に公布され、平成24年12月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げおよび復興特別法人税の課税が行われることとなりました。

これに伴い、繰延税金資産および繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.0%から、平成24年12月1日に開始する連結会計年度から平成26年12月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については38.0%に、平成27年12月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.6%となります。

この税率の変更により、繰延税金資産（繰延税金負債を控除した後の金額）が36,587千円減少し、その他有価証券評価差額金の金額が19,665千円増加し、当第3四半期連結累計期間に計上された法人税等調整額（借方）が56,252千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,554,212	4,451,213
受取手形及び売掛金	14,055,770	13,478,968
電子記録債権	300,179	306,387
商品及び製品	3,279,344	3,204,400
仕掛品	583,042	719,964
原材料及び貯蔵品	566,227	605,154
その他	799,993	1,039,938
貸倒引当金	△47,241	△53,080
流動資産合計	24,091,529	23,752,946
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,021,295	8,041,879
減価償却累計額	△5,133,810	△5,231,717
建物及び構築物（純額）	2,887,485	2,810,162
機械装置及び運搬具	7,125,697	7,208,237
減価償却累計額	△6,474,294	△6,585,027
機械装置及び運搬具（純額）	651,402	623,209
土地	3,516,961	3,419,539
その他	2,028,622	2,402,231
減価償却累計額	△1,624,469	△1,692,619
その他（純額）	404,153	709,612
有形固定資産合計	7,460,002	7,562,522
無形固定資産	273,197	326,956
投資その他の資産		
投資有価証券	2,197,604	2,367,234
その他	1,278,746	1,249,697
貸倒引当金	△181,953	△167,405
投資その他の資産合計	3,294,398	3,449,526
固定資産合計	11,027,597	11,339,005
資産合計	35,119,126	35,091,951

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,146,028	9,331,478
電子記録債務	—	1,584,501
短期借入金	2,962,000	2,862,000
未払費用	1,283,249	789,121
未払法人税等	428,164	181,357
その他	583,716	1,048,970
流動負債合計	16,403,158	15,797,429
固定負債		
長期借入金	1,477,500	1,356,000
退職給付引当金	1,469,060	1,558,564
その他	531,292	832,555
固定負債合計	3,477,853	3,747,120
負債合計	19,881,011	19,544,550
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,572,382	2,572,382
資本剰余金	4,206,965	4,206,965
利益剰余金	8,412,053	8,624,675
自己株式	△80,048	△80,878
株主資本合計	15,111,353	15,323,144
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	193,221	291,021
繰延ヘッジ損益	2,907	1,789
為替換算調整勘定	△69,367	△68,554
その他の包括利益累計額合計	126,761	224,256
純資産合計	15,238,115	15,547,401
負債純資産合計	35,119,126	35,091,951

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)
売上高	40,400,566	38,404,058
売上原価	32,092,933	30,245,724
売上総利益	8,307,633	8,158,334
販売費及び一般管理費	7,272,958	7,344,446
営業利益	1,034,675	813,888
営業外収益		
受取利息	2,693	3,484
受取配当金	28,270	32,475
受取賃貸料	48,653	56,808
受託研究収入	57,978	48,067
その他	58,998	60,459
営業外収益合計	196,595	201,295
営業外費用		
支払利息	38,894	37,941
シンジケートローン手数料	21,744	22,188
持分法による投資損失	9,762	9,146
賃借料	17,082	26,280
その他	40,109	11,050
営業外費用合計	127,593	106,606
経常利益	1,103,677	908,577
特別利益		
固定資産売却益	68,502	86,330
保険解約返戻金	18,177	—
投資有価証券売却益	2,990	—
負ののれん発生益	1,172,614	—
貸倒引当金戻入額	7,721	—
その他	5,142	—
特別利益合計	1,275,148	86,330
特別損失		
固定資産売却損	164,120	2,555
固定資産処分損	87,111	8,745
ゴルフ会員権評価損	—	3,260
減損損失	92,730	—
災害による損失	30,578	—
投資有価証券売却損	—	2,223
投資有価証券評価損	—	2,472
株式交換費用	83,000	—
借地権償却額	12,335	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	17,454	—
その他	5,251	—
特別損失合計	492,582	19,255
税金等調整前四半期純利益	1,886,243	975,652
法人税、住民税及び事業税	419,445	434,737
法人税等調整額	△53,288	91,749
法人税等合計	366,157	526,487
少数株主損益調整前四半期純利益	1,520,086	449,164
少数株主利益	29,009	—
四半期純利益	1,491,077	449,164

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,520,086	449,164
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,427	98,907
繰延ヘッジ損益	△1,085	△1,117
為替換算調整勘定	△25,040	813
持分法適用会社に対する持分相当額	417	△1,108
その他の包括利益合計	△1,281	97,494
四半期包括利益	1,518,805	546,659
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,493,381	546,659
少数株主に係る四半期包括利益	25,423	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年12月1日 至平成23年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品	医薬品原 料・化粧品 原料	化成品	食品原料・ 機能性食品	計				
売上高									
(1)外部顧客へ の売上高	13,425,057	11,000,177	7,205,560	6,060,162	37,690,958	2,709,608	40,400,566	—	40,400,566
(2)セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	204	339,993	—	—	340,198	5,332	345,530	△345,530	—
計	13,425,261	11,340,171	7,205,560	6,060,162	38,031,156	2,714,941	40,746,097	△345,530	40,400,566
セグメント利益 又は損失(△)	△20,390	755,615	460,757	320,799	1,516,782	29,655	1,546,438	△511,762	1,034,675

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器等の販売、プリント配線板等の製造プラント、化粧品の製造および販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△511,762千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△512,435千円および棚卸資産の調整額672千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当第3四半期連結累計期間において、「化成品」および「その他」セグメントにおいて、1,172,614千円の負ののれん発生益を計上しております。これは連結子会社であるメルテックス株式会社と株式交換を行い、同社を完全子会社としたことにより発生したものであります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成23年12月1日 至平成24年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品	医薬品原 料・化粧品 原料	化成品	食品原料・ 機能性食品	計				
売上高									
(1)外部顧客へ の売上高	12,320,190	10,735,873	6,632,557	5,771,669	35,460,291	2,943,767	38,404,058	—	38,404,058
(2)セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	78	261,889	—	—	261,968	7,879	269,848	△269,848	—
計	12,320,268	10,997,763	6,632,557	5,771,669	35,722,260	2,951,647	38,673,907	△269,848	38,404,058
セグメント利益	27,832	775,903	148,945	316,914	1,269,595	17,457	1,287,052	△473,164	813,888

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器等の販売、プリント配線板等の製造プラント、化粧品の製造および販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△473,164千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△474,322千円および棚卸資産の調整額1,158千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。